



市役所における省エネルギー対策について

市役所における節電対策については、ISO14001での取り組みを基本として取り組んでいますが、特に、平成23年度は、中部電力浜岡原子力発電所の運転停止を受け、平成23年5月19日に「緊急省エネルギー対策会議」を設置し、スーパーノー残業デー、デマンド監視システム、LED照明の一部導入、電気使用量の「見える化」などの実施により、消費電力の抑制を図ってまいりました。

その結果、平成23年度における電気使用量の実績は、前年度と比較して、市役所全体で4.2%削減となりました。

節電対策については、一過性の取り組みではなく、引き続き行ってまいります。本年度はクールビズの実施期間について、5月1日から10月31日まで拡充します。5月中に冷房を入れる機会は少ないと思いますが、夏に向け職員の節電への機運を高めていくものです。

また、平成22年度から実施している「緑のカーテン作戦」においては、新たに市民園芸サークルの皆様方に種植え等のご協力をいただき、ゴーヤによる取り組みを強化していきます。さらに、市民向けとしまして「春のイベント」において希望する方に、ゴーヤの苗や土、プランターを配付する予定です。

地球温暖化防止対策においては、電気その他、ガソリン、軽油、重油、ガスの使用量削減に取り組んでいるところです。

昨年度は、電気使用量を「見える化」することで、一定の効果を上げたため、本年度は電気に加え、ガソリン等の燃料使用量の「見える化」を行い、市役所全体で共通意識を高め、一丸となって地球温暖化防止対策を進めてまいります。